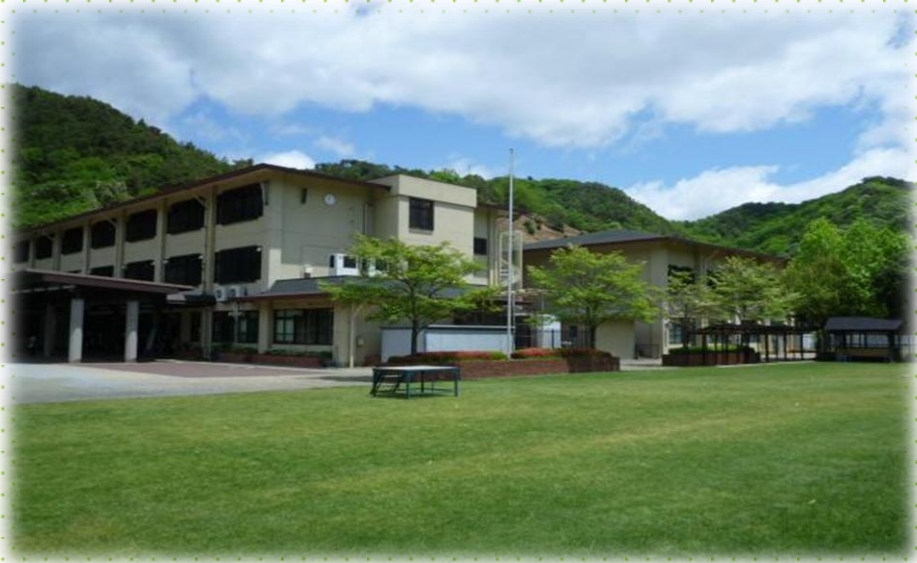


研究発表会 全体会



平成26年度 研究発表会（最終報告）

【全体会①】

「情報バンク」について

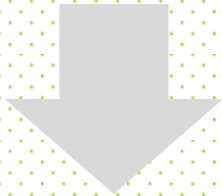
平成27年 1月30日
京都市立西総合支援学校
研究主任 上田 文彦

<内容>

- わたしたちの大切にしていること
- なぜ，情報バンクなのか？
- 情報バンクとは？
- 成果と課題

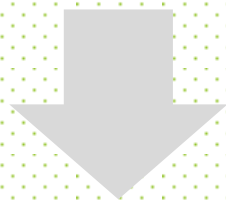
＜学校教育目標＞

「できる」自分を知り，夢や希望を持って，
自らひと・もの・ことに向かう子どもを育てる



子どもを「できる存在」として捉え，
手だてつきの「できる姿」を実現していく

「できる」からのスタート



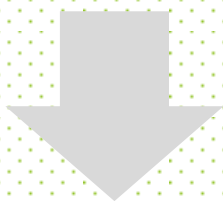
- 子ども一人一人の「できる」ことから取り組み、それぞれの場面で主体的に自信を持って活動する

達成感

自己肯定感

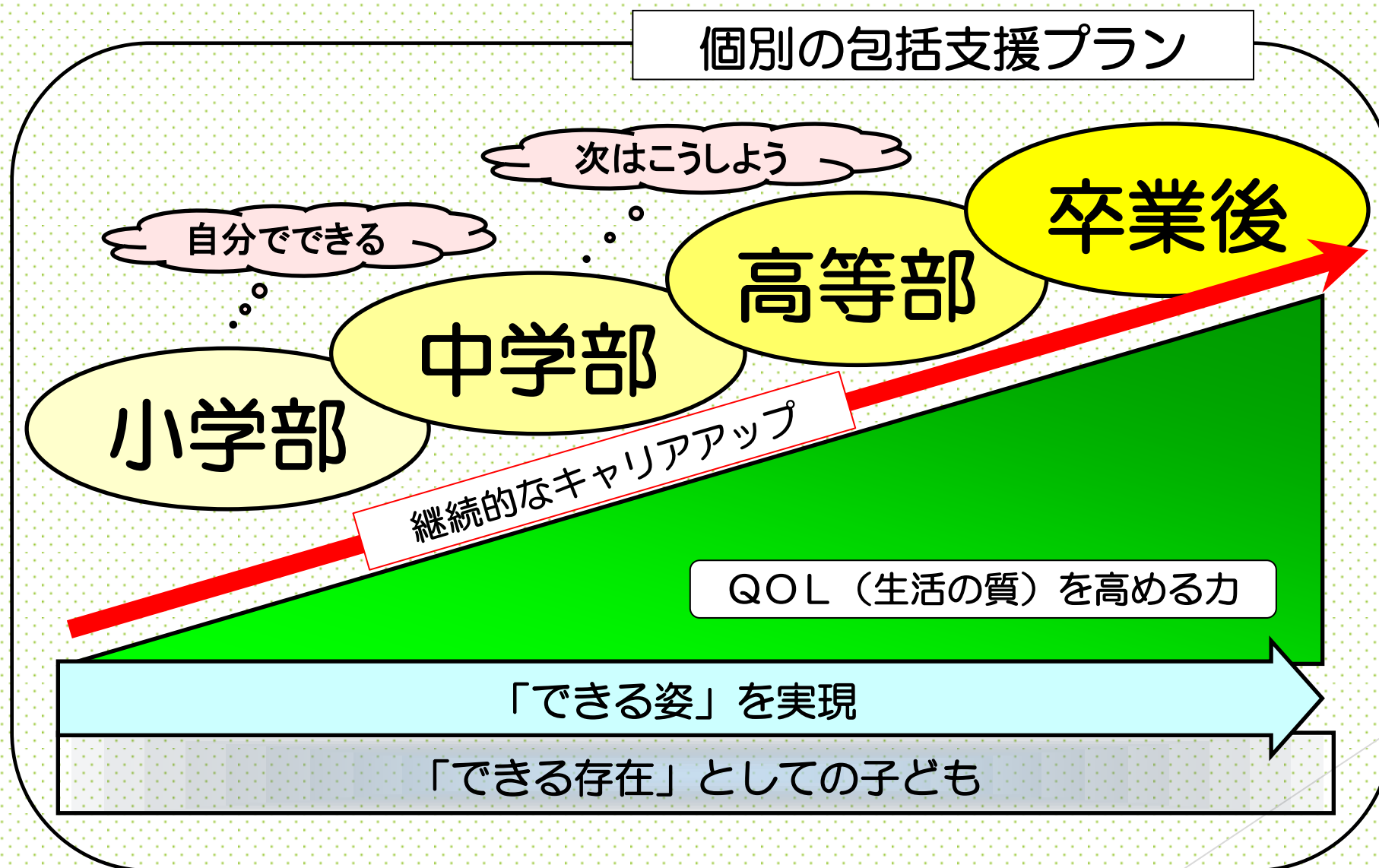
わたしたちの大切にしていること

「自分でできる」という自信や
「次はこうしてみたい，あんなことをしてみたい」
「もっとしてみよう！」という目標・目的
さらに，
「大きくなったらこんな人になりたい」
「卒業後にはこんな仕事に就きたい」という夢や希望



自ら「QOL（生活の質）」を高めようとする気持ち

わたしたちの大切にしていること



＜研究テーマ＞

子ども一人一人の将来の生活を
見据えた教育や支援・手だてについて
～個別の包括支援プランを根幹に据えた
子どもの継続的なキャリアアップを目指す～

なぜ、情報バンクなのか？

「できる」からスタートするには、
子どもの「できる」の情報を“伝えて繋ぐ”ことが何より重要



「できる」を伝えて繋ぐ上で「個別の包括支援プラン」に記載
されている内容は，“指導後・学習後の姿「～できた」という
「現在の姿」”が大半である



担当の支援者が大幅に変わることが多い，児童生徒の進級時・
学部移行期そして高等部卒業後の移行期に活用しにくい

なぜ、情報バンクなのか？

○「できる」の情報とは…

- どのような手だて（支援や状況づくり）がなされたか？
- その結果、どのような様子が見られたか？

…という情報を含めたものである



通知票の内容

なぜ、情報バンクなのか？

通知票の内容をデータベース化

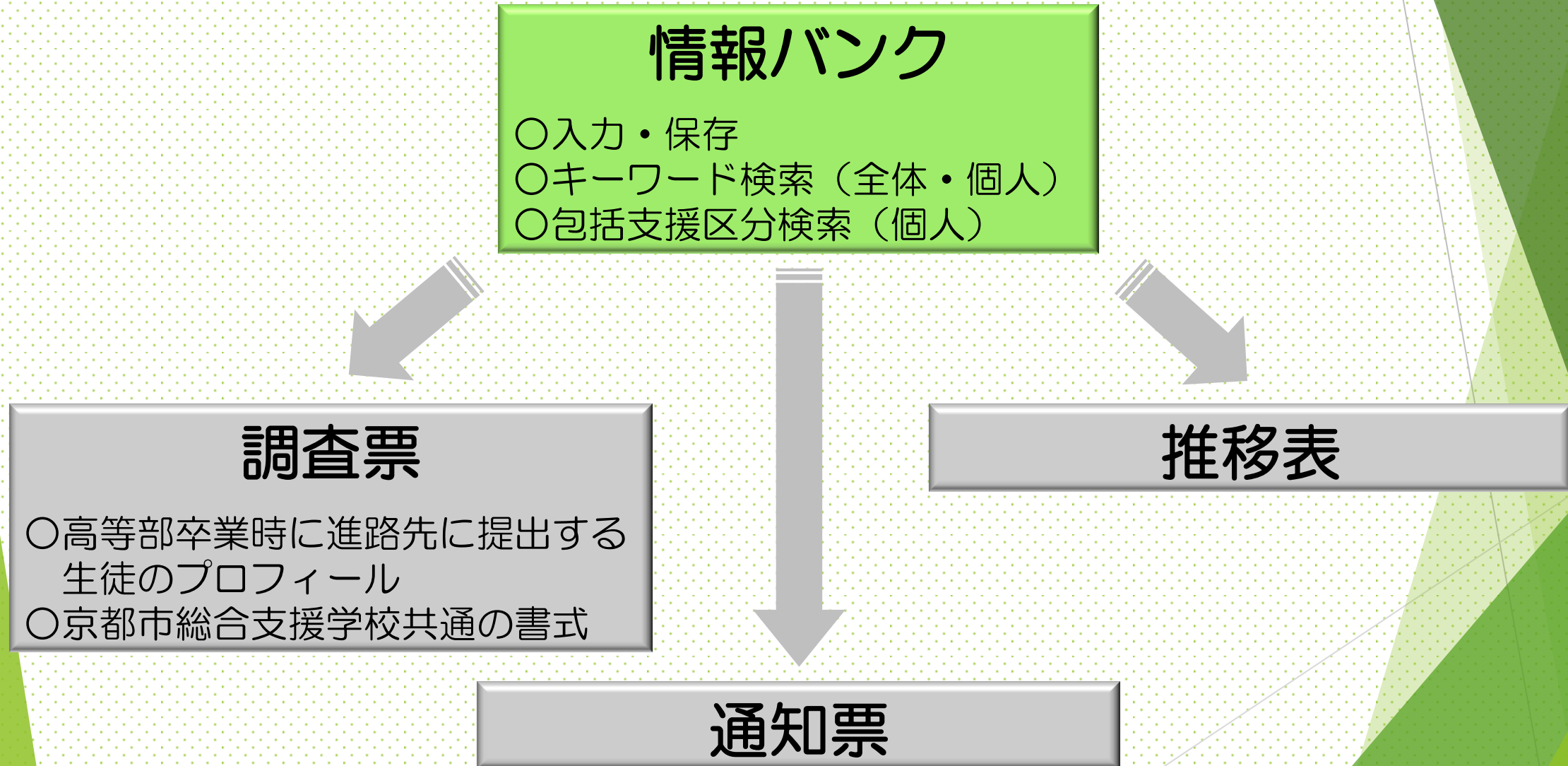


情報バンク

＊「できる」を“伝えて繋ぐ”システムツールとして
活用できないかという仮説のもと取組を開始

情報バンクとは？

<情報バンクの機能>



情報バンクとは？

通知票

年

組

氏名

指導場面	番号	目標・学習内容・手だて・活動の様子		評価
①	②	目標	③	
		内容	④	
		様子	⑤	
		目標		
		内容		
		様子		
		目標		
		内容		
		様子		

抽出年
20
氏名

情報バンク入力画面

一つ前の期からコピー 継続および評価のない分をコピーします

1 小学部 年

年度 期 順順(KEY) 目標(達成・継続等は右クリックで)

2014	前期	A	0101	【前期達成】口唇を開いて、介助したコップから水分を取り込む。	01	基本	①	手立・様子	挿入	削除
2014	前期	A	0102	【前】【達成】介助したコップから水分を連続して嚥下する。 【前期】介助した蓮華から水分を連続して嚥下する。	01	基本		手立・様子	挿入	削除
2014	前期	A	0103	【前】【達成】食物をすくったスプーンを見せると、スプーンを持って、口へ運こんで取り込む。 【前期】食物をすくったスプーンを見せて手に持つようにすると、スプーンを持って、口へ運んで取り込む。	03	基本		手立・様子	挿入	削除
2014	前期	A	0201	指導者の支援で、四つ這い姿勢をする。	02	基本		手立・様子	挿入	削除
2014	前期	A	0202	台などにつかまって膝立ち姿勢や片膝立ち姿勢、立位姿勢を取る時間をのばす。	02	基本		手立・様子	挿入	削除
2014	前期	A	0203	上体を支える支援で、足底を床に着けて歩く動作をする。	02	基本		手立・様子	挿入	削除
2014	前期	B	0301	【前】【達成】おむつを替えるときに、腰を浮かせる協力動作をする。 【前期】おむつを替えるときに、言葉かけをしながら、腰を少し浮かす手添えをすると、腰を浮かせる協力動作をする。	04	基本		手立・様子	挿入	削除
2014	前期	B	0302	【前】【達成】衣服の着脱のときに、腰を浮かせる協力動作をする。 【前期】衣服の着脱のときに、言葉かけをしながら、腰を少し浮かす手添えをすると、腰を浮かせる協力動作をする。	04	基本		手立・様子	挿入	削除

手立

様子

④

⑤

必要な生乳や汁物の水分で取り組みました。初めは、蓮華を使用して上唇が水面に着くことを確認しながら、口唇を開くように支援すると、一口分を吸い込んで水分を取り込むことができました。そこで、指導者から水面の見えやすいカットコップで取り組みました。カットコップでは、コップの淵を歯列の奥に入れて取り組み難く、コップの淵を歯列の前で止めることになれるまで少し時間がかかりました。取り組みを重ねると、カットコップから一口分を吸い込んで取り込むことができました。

ここから実際に情報バンクを操作します。
研究紀要P～を合わせてご覧ください

- 短期目標，手だて，様子入力・保存
- キーワード検索（全体・個人）
- 推移表（3期分・入学年度から…）
- 包括支援区分検索
- 通知票出力

情報バンクとは？

＜入学年度から現在までの短期目標の推移表を
使ったのケース会議の様子（25年度）＞



情報バンクとは？

本研究は、情報バンクというシステムを開発することに目的があるわけではない



どのように活用していくことで

- 子どもの「できる」を伝えて繋ぐことができるのか
- 継続的なキャリアアップに繋がるのか

…を各学部の実践を通して検証することが目的

＊「もっとこんな機能があれば活用しやすい」「この情報を入力したい」という各学部からの意見を反映させていきたい

〈成果〉

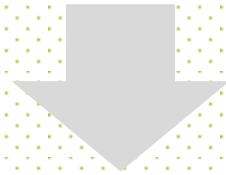
- 7月の全体研修会で、情報バンクの入力操作を全教員対象に行なった
 - ⇒校内ほとんどの教員が、情報バンクがどのようなものなのか知ることができた
 - ⇒前期末には、全教職員の情報入力を目指して、各担当が入力を開始



★本格的運用の大きな一歩となった
今後、学期ごとに子どもの「できる」の情報を蓄積し情報量が多くなれば活用度の高いものに

＜成果＞

○小学部と中学部との取組，高等部と進路先との取組で情報移行について検証を行なった



- ★「情報バンク」内の情報の活用度の高い時期が分かる
- ★情報を受け取る側の「ほしい情報」を知ることができた
- ★活用度が高くなると考えられる新しい機能のアイデア

〈課題〉

- 多くの教員が入力をする中で「入力した情報が消えた」「他の生徒の情報と入れ替わった」などの入力時のシステムの問題
- 更なるカテゴリ検索の追加を行う
⇒検索する人が、より直感的に検索できるように
- 今後も、情報量を増やし、活用度の高いものにしていく必要がある